

～保護者の皆さまと
学科をつなぐ
ほっとライン～

しまなみだより



第1号 2013年10月発行

～看護学科・学生生活通信 発行によせて～

空は深く澄み渡り、さわやかな季節となりましたが、皆様におかれましては健やかに過ごしのことと存じます。平素より本学の教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。この度、本学科の保護者の皆さまに看護学科独自の学生生活通信「しまなみだより」を発行することになりました。本学科は変動する社会のニーズに応じて主体的に役割を果たし、自立して活躍できる看護師、保健師を育成することを目標としたカリキュラムを構成しています。講義、実習が連続しており、学生にとっては決して余裕があるカリキュラムではありませんが、学生はお互いに助け合い、教員、実習施設のスタッフ、そして患者様と関わりながら着実に成長しています。そのような姿を保護者の皆さまに「しまなみだより」を通してご紹介できればと思っております。

今後とも一層のご支援のほどお願い申し上げます。



看護学科 学科長 笠置恵子

1年生

学年ごとの学生生活の紹介

夏季休暇中の楽しい思い出が冷めやらぬ9月下旬に、初めての病院実習(基礎看護実習Ⅰ)が県内2施設で実施されました。期待と緊張の面持ちで施設概要の説明を受け、救急医療の現場や外来、放射線、緩和ケア、各科病棟、地域医療、リハビリ、栄養、災害支援部門など、多くの職種と診療科や部門が連携を密にとりながら患者様への治療を機能的に行っていることを知りました。また、この実習には外来受診をされる患者様の受診行動に付き添う機会が設けられており、疾患に伴う日常生活の変化や思いなどについて貴重なお話を聞くこともできました。病棟では看護師が行う注射や清潔援助等のケア場面を見学し、具体的業務の流れを見ることができました。さらに、入院患者様が感じておられる治療への前向きな意欲や期待、不安など、様々な思いについても詳しく伺うことができ、これらの「患者様の思いに応えられる看護師になりたい」と目を輝かせて話す学生もいました。初めて経験する場面の多い1年生は、期待と戸惑いを感じながら勉強を進める時期です。実習で患者様や先輩看護師から頂いた応援メッセージや多くの学びを胸に、後期からはさらに「生化学」や「微生物学」などの座学や「日常生活援助方法論Ⅱ」や「看護理論と実践」などの演習に取り組んでいきます。(石原)



前期解剖学概論の授業風景です
皆さん熱心に勉強しています

2年生

本年度前期には「診療に伴う看護方法論」という学内演習が実施されました。実際の注射器や薬液を用い、皮下注射や筋肉内注射、静脈内注射、点滴、静脈血採血など、注射に関する技術演習の他、浣腸や導尿、吸引法、吸入法についても学習しました。人体モデルを用いた演習ですが、初めて触れる実際の医療器具や薬液に興味を示しつつ、感染防止の観点から慎重に基本的操作手順の確認を行いました。期末試験として行われた技術試験では、ほとんどの学生が事前に設定された技術練習の機会を利用し、熱心に取り組んでいたため、試験当日は「とても緊張しました」と言うもののしっかり得点を伸ばしていました。後期からの演習では、看護師が身につけておくべき身体診査技術に関する正しい手順を学ぶ「ヘルスアセスメント」が始まりました。この演習には筋・骨格・神経・呼吸・循環など解剖学をはじめとする多くの基礎知識が必要となってきます。

2年生は、これまでに学習した内容を学生自身の演習体験を通して理解を深める機会が増えてきます。2月に実施される2回目の実習(基礎看護実習Ⅱ)に向けて、日々コツコツと学習を積み重ねて頑張っています。(石原)



右の写真は授業でよく使用する基礎看護実習室から見えるしまなみの風景です



3年生

3年生はいよいよ本格的な実習が始まりました。10月から翌年2月までは成人看護実習Ⅰ、成人看護実習Ⅱ、老年看護実習、母性看護実習を行います。それぞれ3週間の実習を5~10人程のグループで実習をしています。実習は、一人の看護学生として一人の患者様を担当する責任があるという緊張感がありますが、体調を崩さないように気をつけて実習を行っています。

成人看護実習Ⅰでは手術を行う成人患者を対象に援助を学んでいます。患者様の状態の変化が著しいため、展開が早くハードな実習ですがグループメンバー同士励まし合いながら頑張っています。

成人看護実習Ⅱではがん、糖尿病などの慢性疾患を患う成人期にある患者様を対象として、退院後の療養生活を見据えた援助を学んでいます。患者様が自己管理できるようパンフレットなどを作り工夫して関わっています。

老年看護実習では入院中や施設入所中の高齢の患者様を対象に清潔ケアなど日々の日常生活の援助を行い、風船バレー大会など日々のアクティビティを企画し高齢者への援助を学んでいます。

母性看護実習では妊娠期から出産後にかけて、女性の健康状態の観察や指導を行います。また、新生児には沐浴などの援助を行っています。春休みには、次年度の実習の準備、就職活動、国家試験の準備などを行います。(永井)



*写真は前期「成人看護方法論Ⅲ」急変シナリオを用いたシミュレーション演習 一次救命処置をしている様子です 緊迫感があり真剣に繰り返し取り組みました

4年生

4年生は前期に小児看護実習、地域看護実習、精神看護実習を行い、すべての実習を終えました。また、多くの学生さんはそれぞれの進路を決め就職活動もひと段落しています。

前期から取り組んでいる卒業研究ではそれぞれ関心のあるテーマを担当教員の指導のもとに研究計画書から丹念に仕上げ、12月に発表会を行います。7分間の発表はとても緊張していますが発表後はみな晴れ晴れとした表情をしています。翌年の1月初旬までに論文として仕上げます。3月に4年生全員の研究をまとめた論文集をお渡ししますので是非ご覧ください。

現在、学生さんは2月14日、16日にある保健師国家試験、看護師国家試験に向けて勉強をしています。夏に行った模擬試験の結果はご覧になったでしょうか。みんな、国家試験合格に向け頑張っていますので、保護者の皆さまも応援をよろしくお願いいたします。

3月18日には卒業式を予定しています。学生さんの晴れ姿をぜひご覧いただきたいと思います。なお、卒業式の後、卒業旅行を予定している学生さんが多いと思いますが、安全面に気をつけて楽しんでもらうよう、注意を促しています。(永井)



教員の紹介 学科の名物教員をご紹介します!



吉田なよ子講師

基礎看護教員の吉田なよ子です。特徴はメタボ体型と白髪で、少々ロウるさいオバサン。主に1.2年生が学ぶ専門科目と基礎看護実習、4年生の就職進路担当、卒業研究などを受け持っています。年々学生との年代の差を感じますが、これは仕方がないこと。なるべく相手の良い面を見ることをモットーにしています。目下の私の課題は「いかに折れない心を保てる看護職を育てるか」です。ちなみに血液型O型の私のストレス解消法は、趣味の海外ミステリーを読み、我が家の愛猫虎次郎と遊び(遊んでもらい?)そしてサッサと寝てしまうことです。



県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

～サークル紹介～『県立広島大学パペットサークル』

三原キャンパスの学生からなるチームです。人形劇をみている人たちの生き生きして楽しそうにしている姿をみることがこの活動の醍醐味です。人形やシナリオ、セットはすべて手作りで大変ですが、人形劇を通して、子どもたちや高齢者との交流を深め、人とふれあう機会を経験するため、参加している学生はとても勉強になります。(大内)



学生さん いらっしゃ〜い!

初めての看護実習を無事に終わることが出来て、とりあえず今はホッとしています。実習を終えて僕自身本当に成長することが出来たと思います。人の心情を理解するために必要なことをたくさん学べたので良い経験になりました。この大学に入って自分が知らないことを次々に教えていただき、自分が成長していくのがよく分かるのでとても楽しいです。

男子は今年、学科内の約 15 分の 1 という人数ですが人数が少ないのでみんな仲良く一緒に学ぶことが出来ています。学内には優しく、とても丁寧に教えてくださる先生方や僕たちの学生生活の支えになってくれる先輩方がたくさんいます。これからも楽しく、有意義な学生生活をしていこうと考えています。



1年 加里本祥悟さん

9月中旬にあった基礎看護実習Ⅰを終え、ホッとした時の写真です。笑顔が素敵ですね

〜卒業生 頑張っています!〜



平成 17 年度卒業生
志和知華さん
県立広島病院 看護師

看護師となって8年目になりました。最初は仕事に慣れることで精一杯でしたが、先輩や患者さんに可愛がっていただき、ここまで続けることができました。今は純粋に人とかかわる仕事に就けてよかったと思っています。

大学の4年間は、通学していたこともあり、仕事とは別の大変さがありました。しかし、家族に支えられて無事卒業することができました。他の大学生のように自由に過ごせる時間は限られていますが、学生生活を楽しんでほしいと思います。また、大学の友人は今でも付き合いが続いていますので、友人と過ごす時間を大切にしてほしいです。

4月から大学院生としてまたこの大学に戻って、勉強と仕事を両立しながら頑張っています。この大学を卒業したからこそ、たくさんの人との出会いがあり、今後の自分の道が開けていくチャンスが得られたと思います。

看護学科「学生生活通信」について ご意見、ご感想などお寄せ下さい。
〒723-0053 広島県三原市学園町 1-1 TEL 0848-60-1120(代表)
FAX:0848-60-1134(代表) E-mail : nskouhou@pu-hiroshima.ac.jp
発行:県立広島大学保健福祉学部看護学科 広報係



三原キャンパスから見えるしまなみの風景